

## 日本行動計量学会第37回大会

- 開催期間 : 2009年8月4日(火)~8日(土)
- 場所 : 大分大学医学部校内(大分県由布市)
- セッション名:「マーケティングにおける意味の発見」
- 発表者 : 株式会社クロス・マーケティング  
マーケティングインテリジェンスユニット ゼネラルマネージャー 橋本 幸子
- 発表内容



<発表題目> 「関与レベルの違いに起因する鑑賞行動変化の測定」

<目的> 芸術作品に対する関与レベルの違いが、展示物の鑑賞行動にどのような違いをもたらすかについて、アイカメラを用いた視認行動データを元に考察する

<実験時期> 平成21年4月

<実験会場> 東京藝術大学 陳列館  
「ラトビア藝術大学と東京藝術大学美術学部との国際交流展」会場

<実験方法> まず実験に先立って、実験協力者5名を美術作品制作経験等を考慮し、高関与群・低関与群の2群に分類した。その後、実験協力者全員にアイカメラ (ASL社 Mobile Eye)を装着してもらい、美術品展示会場を自由に歩いてもらった。その結果を元に、鑑賞中の会場内での回遊行動と特定展示作品に対する視認行動の2点について考察を行った。

◆お問い合わせ先◆

株式会社クロス・マーケティング 第1アカウントプランニングユニット 担当: 多田 大友

TEL : 03-3549-0221 (部署直通) FAX : 03-3549-0221

E-mail : sales-crossm@cross-m.co.jp